

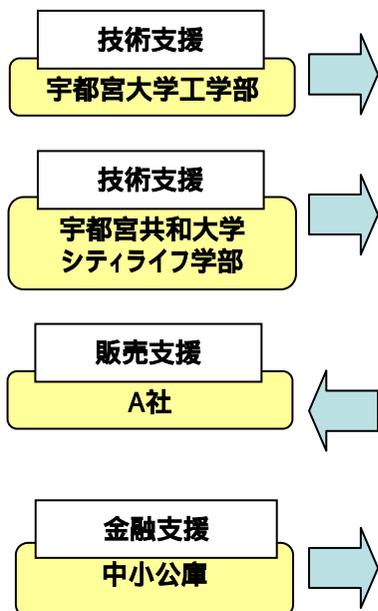
地域	栃木県宇都宮市	認定日	平成20年2月28日	3 - 19 - 104
事業分類	製造業(一般機械)	テーマ分類	その他	

事業名: 「グラスロック工法」に係る防草工事の機械装置及び充填材の製造販売の事業化

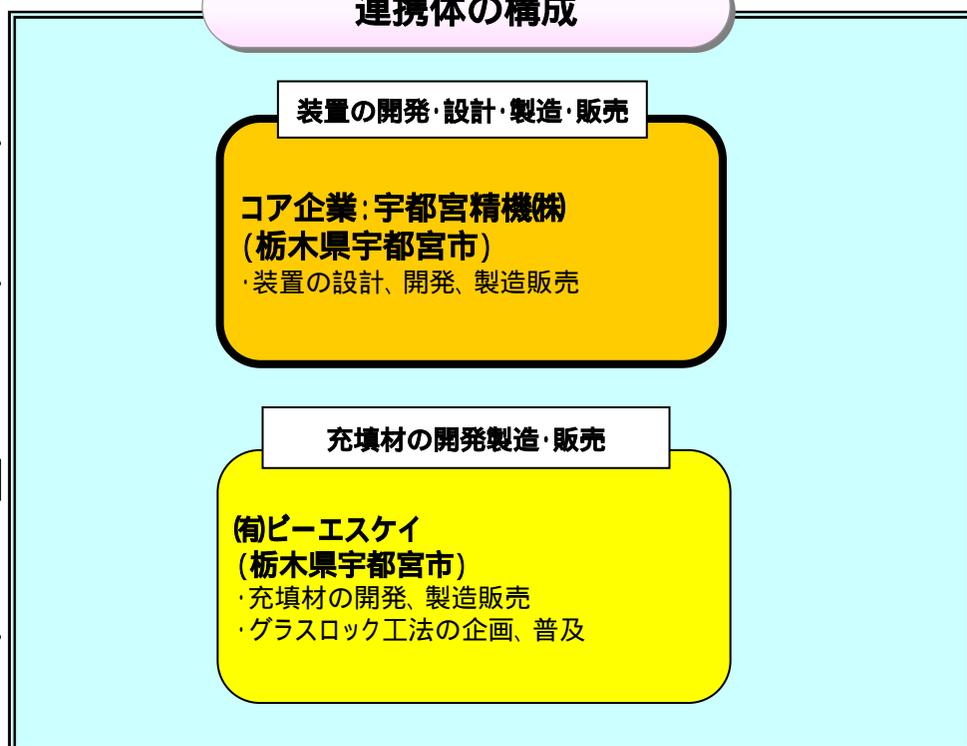
事業概要(新規性、市場性等)

- 道路やアスファルト・コンクリートなどの舗装材の隙間に生える雑草については、人的に引き抜きや草刈機による除草や、場合によっては除草剤での処理をする場合もあるが、防草を目的とするものではなく、すぐに草が生えてしまい歩行の障害となるとともに、街の美観を損なうものである。
- 本事業は、除草のみでなく防草という観点から、コンクリートとコンクリートの間に生える雑草を除去した後、雑草が繁殖しないように膨張性の砂で隙間を埋めることができる工法に用いる専用装置と充填材の販売を行うもので、従来の防草テープ工法と比較して、工期短縮とコスト削減を実現する事業である。
- 全国の道路や民間の施設、駐車場等への施工を対象とし、地域の施工業者向けに事業展開を図る。

事業推進体制



連携体の構成



支援予定メニュー

補助金
低利融資(中小公庫)



施工前



施工後(3年経過)



連携のきっかけ、特徴

- ・ コア企業の代表者が日ごろより、歩道や民間の駐車場に生い茂る雑草を目にし、街の美観に関する問題意識を持っており、また高齢者の電動車椅子に出会うこともあるが、この草を避けて車道を走る姿も目にし、その危険性を感じていたところ、(財)栃木県産業振興センターの紹介で、「グラスロック工法」という防草工事の発明者(有)ビーエスケイ)に出会い、装置の開発で行き詰っているという相談を受けたことがきっかけで、連携事業のプロジェクトが開始した。
- ・ 自動化・省力化機器の製造で培った技術力と部品入手の幅広いネットワークを有する宇都宮精機(株)がコア企業となり、施工装置を開発製造販売、工法の発明者である(有)ビーエスケイが宇都宮大学の協力を得て充填材の開発製造販売及び行政や全国の施工業者へ「グラスロック工法」の企画・普及を図る。

コア企業の会社概要

企業名・代表者	宇都宮精機株式会社 代表取締役 石川 英一	
所在地	栃木県宇都宮市白沢町2012-4	
創業	昭和45年	
資本金・従業員数	7,500万円	48名
業種	一般機械器具製造業	
TEL	028-673-2377	
FAX	028-673-5840	
ホームページ	http://www.utsunomiyaseiki.co.jp/	
e-mail	info@utsunomiyaseiki.co.jp	

PR等その他の情報

- ・ 本事業に係る「グラスロック工法」は、国土交通省新技術NETIS始め北海道、茨城県及び栃木県の土木関連新技術に登録されている。工法普及には「グラスロック工法研究会」を組織し、研究会参加施工業者に「グラスロック工法」の施工技術を教育し、確実な工事を遂行することにより社会的な信用を得て拡大を図っていきたいと考えている。今後、工法普及のためにも、テスト施工や工法説明会など様々なPRの場に参加し全国展開を推進していきたい。